

テレビでは伝えられない真実を！

被災地の水産加工業 経営者たちの戦いの記録

涙や感動で工場は再建しない
震災後3日目に復興を決意！

「いま出来る事！」をモットーに 走り続ける女性社長



大型店舗も、4代続いた工場も流されたが、唯一高台にあった住居が残った。水道の復旧と同時に、自宅玄関脇に2坪の小屋を建て、干物や酢メの加工物を作り始め、手売りを行う。

いま出来る事から！！

- ・補助金制度が決まる以前から、市や町に掛け合い復興を目指した。
- ・自宅玄関脇の作業小屋をはじめ、合計4棟の作業所と乾燥場を自費で造り、社員を叱咤激励しながら製品を作り続けた。
- ・店舗を失ったため全国のイベント会場で先頭に立ち、現在も手売り販売を行っている。



三軒目に建てた乾燥場



再建の最中、木村トシ社長を病魔が襲う
乳ガンの緊急手術。術後10日で働き始める。

私は、被災者と認定されなかった・・・?!

工場・店舗を失っても自宅が残ったため、被災者とは認定されない。(だが金を生む場所はない。)

そして、震災前の銀行ローンは残ったままで、経営者には失業保険がない。だからいま出来る事から始めるほかなかった。



中小企業基盤整備機構により建てられた工場